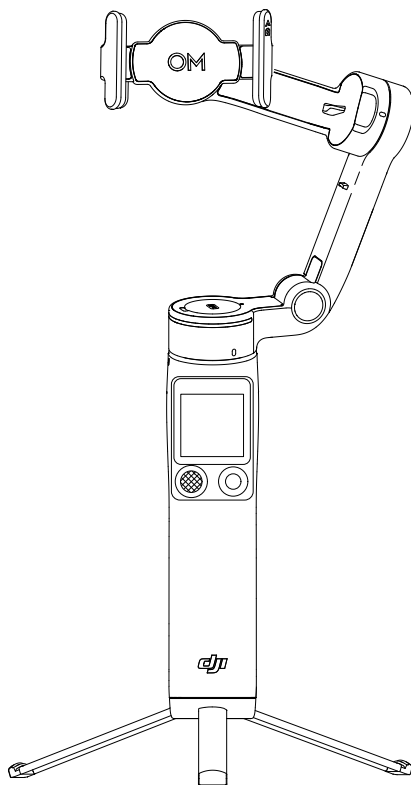


# dji OSMO MOBILE 8P

## ユーザーマニュアル

v1.0 2026.04





本書は、DJI の著作物であり、すべての権利は DJI に帰属します。DJI から別途許可されていない限り、本書の複製、譲渡、販売を行ったり、本書または本書の一部を使用、または他の人に使用を許可したりすることはできません。ユーザーは、本書とその内容を DJI 製品の操作に関する指示を参照する目的にのみ使用してください。本書を他の目的で使用しないでください。言語版によって相違がある場合には、英語版が優先されます。

### 🔍 キーワードの検索

「バッテリー」や「取り付け」などのキーワードを検索することでトピックを探することができます。Adobe Acrobat Reader を使用して本書をお読みの場合、Windows では Ctrl+F、Mac では Command+F を押して検索を開始できます。

### 👉 任意のトピックに移動

目次の全トピック一覧が表示されます。トピックをクリックすると、そのセクションに移動します。

### 🖨️ 本書を印刷する

本書は高解像度印刷に対応しています。

# 本マニュアルの使用方法

## 凡例

△重要

☆ヒントとコツ

📖参考

## ご使用前にお読みください

DJI™は、チュートリアルビデオと次のドキュメントをご用意しています。

1. 『安全ガイドライン』
2. 『クイックスタートガイド』
3. 『ユーザーマニュアル』

すべてのチュートリアルビデオの視聴をお勧めします。初回使用前に、『安全に関するガイドライン』をお読みください。初めて使用する前に、必ず『クイックスタートガイド』を確認し、詳細について『ユーザーマニュアル』を参照してください。

## チュートリアルビデオ

以下のアドレスにアクセスするか QR コードをスキャンすると、チュートリアルビデオを視聴でき、製品の安全な使用方法を知ることができます：



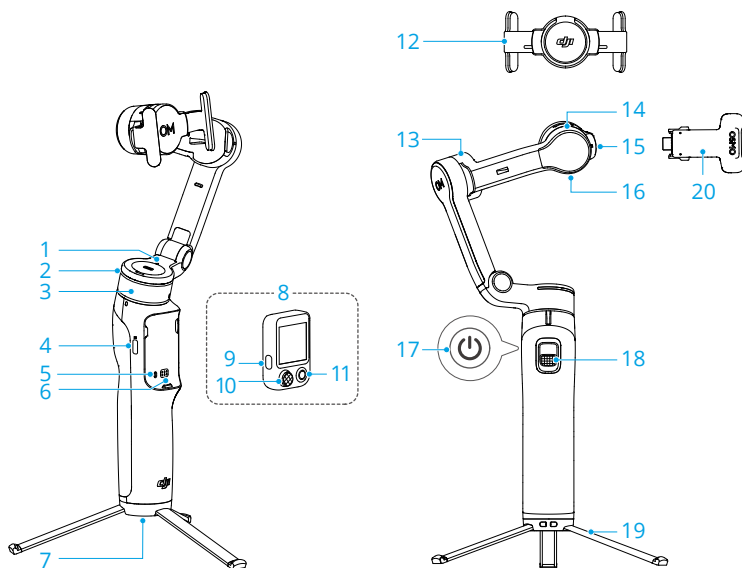
<https://www.dji.com/osmo-mobile-8p/video>

# 目次

本マニュアルの使用方法	3
凡例	3
ご使用前にお読みください	3
チュートリアルビデオ	3
1 製品の特徴	6
2 初めてのご使用にあたって	7
2.1 折りたたんだ状態から広げる	7
2.2 スマートフォンの取り付け	8
2.3 DJI Mimo アプリへの接続	9
2.4 ファームウェアの更新	10
2.5 使用方法	11
リモート撮影	11
手持ち撮影	11
2.6 充電中	13
3 基本機能	14
3.1 ボタンとポート	14
3.2 送信機タッチ画面	16
ホーム	16
下にスワイプ - コントロールセンター	17
上にスワイプ - ジンバル設定	18
右にスワイプ - 多機能モジュール	18
左にスワイプ - スマートフォン画面のミラーリング	19
3.3 フォローモード	20
3.4 自動カメラワーク	21
3.5 インジケーター	22
3.6 スマートフォンの充電	24
3.7 ストレージ	25
4 高度な機能	26
4.1 多機能モジュール（オプション）	26
インストール中	26
トラッキングと撮影	27
タッチ画面での操作	28
ボタンで操作する	28
ジェスチャーによる操作	29
アクティブトラック設定	31
補助光	32

	スマートフォンの充電	32
4.2	ワイヤレスマイクとの接続	33
4.3	Apple DockKit トラッキング	33
4.4	スマートウォッチでリモート制御	35
<b>5</b>	<b>メンテナンス</b>	<b>36</b>
<b>6</b>	<b>付録</b>	<b>37</b>
6.1	仕様	37
6.2	スマートフォンの互換性	37

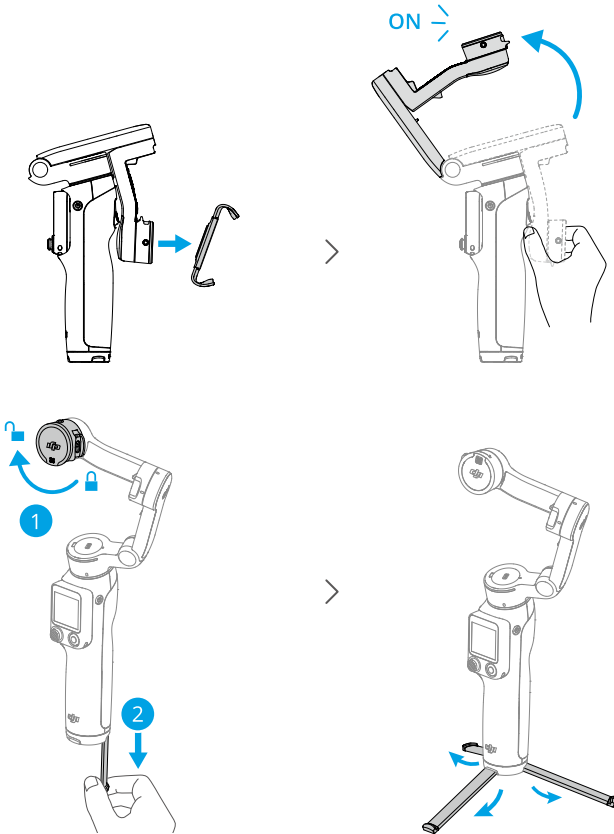
# 1 製品の特徴



1. NFC ペアリングステータス インジケータ
2. トラッキングステータス インジケータ
3. パン軸モーター
4. 充電ポート (USB-C)
5. システムステータス インジケータ
6. 連絡先
7. 1/4-20 UNC ポート
8. Osmo FrameTap (以下「送信機」といいます)
9. 機能ボタン
10. ジョイスティック
11. シャッター／録画ボタン
12. DJI OM 磁気スマートフォンクランプ 5 (以下「スマートフォンクランプ」といいます)
13. チルト軸モーター
14. ロール軸モーター
15. 出力ポート (USB-C)
16. カウンターウェイト取り付け穴
17. 電源ボタン
18. トリガーボタン
19. 内蔵三脚
20. DJI OM 多機能モジュール 2 (オプション。以下「多機能モジュール」といいます)

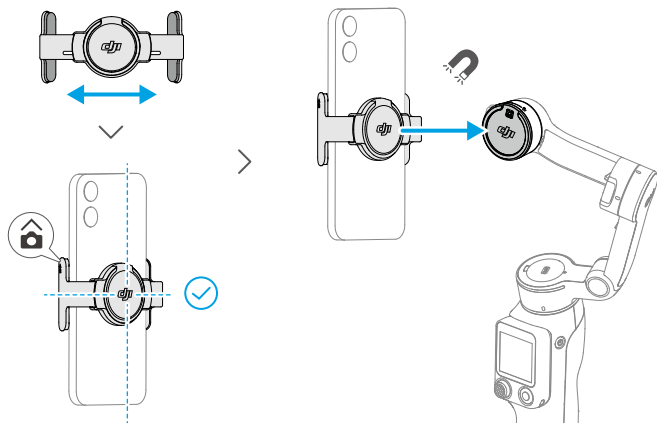
## 2 初めてののご使用にあたって

### 2.1 折りたたんだ状態から広げる



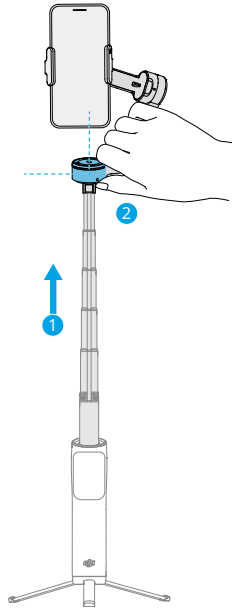
- 💡 • ロール軸はデフォルトでロックされています。回転させてロック解除位置にして、ジンバルが正常に動作するようにします。
- ハンドルの送信機は、ジンバルの電源オンと連動して自動的に起動します。送信機のタッチスクリーン上の指示に従って、セットアップを完了します。
- 内蔵の三脚は、無風環境下で、安定した水平面での使用に適しています。その他の条件下では、ジンバルの底部に DJI OM グリップトライポッド（別売り）を取り付けることを推奨します。

## 2.2 スマートフォンの取り付け



スマートフォンクランプが所定の位置にはまると、ジンバルが自動的にスマートフォンを安定させます。ジンバルのスタビライズ機構が停止した場合は、電源ボタンを押してスタビライズ機構を有効にしてください。

内蔵の延長ロッドを伸ばす場合は、必ずパンモーターが地面と水平になるように調整してください。これにより、スマートフォンをジンバルに取り付けた後のバランスを保つことができます。

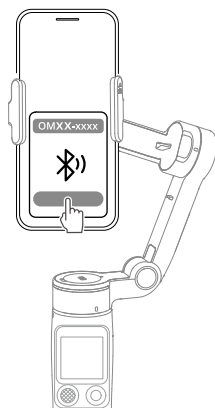


## 2.3 DJI Mimo アプリへの接続

1. QRコードをスキャンして、DJI Mimo アプリをダウンロードしてください。



2. スマートフォンで Bluetooth を有効にして、DJI Mimo を開き、ジンバルに接続します。



- 
-  • DJI Mimo がサポートする Android と iOS のオペレーティングシステムのバージョンを確認するには、<https://www.dji.com/downloads/djapp/dji-mimo> をご覧ください。
- DJI Mimo のインターフェースおよび機能は、ソフトウェアのバージョンが更新されると変わる場合があります。実際のユーザー体験は、使用するソフトウェアのバージョンによって異なります。
- 

 **Bluetooth 接続に失敗した場合、以下の手順を試してください。**

1. スマートフォンの Bluetooth 設定に進みます。ジンバルとの既存の接続をすべて削除し、デバイスを消去します。
  2. [ジンバルの Bluetooth をリセットします。](#)
  3. Bluetooth 設定で新しいデバイス名をタップします。接続が完了したら、DJI Mimo を再起動します。
- 

## 2.4 ファームウェアの更新

新しいファームウェアが利用可能になると、DJI Mimo にプロンプトが表示されます。プロンプトをタップし、画面上の指示に従って、ファームウェアを更新してください。

ジンバルと送信機のファームウェアは同時に更新されます。送信機がハンドルに取り付けられていることを確認してください。アップデート中は、DJI Mimo を終了したり、バックグラウンド動作に切り替えたりしないでください。

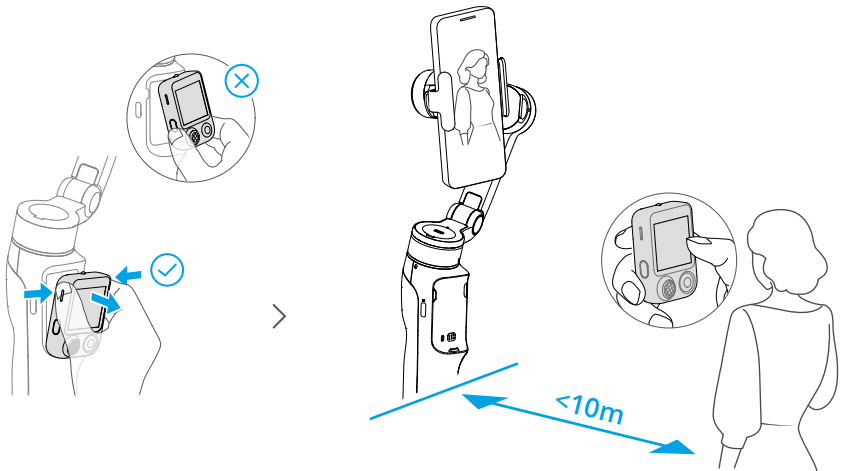
アップデートに失敗した場合は、DJI Mimo を再起動し、Bluetooth 接続を再確立して、やり直してください。

- ⚡ • 更新する際は、ジンバルに十分な電力があり、携帯電話がインターネットに接続されていることを確認してください。
- 更新中、ジンバルのスタビライズ機構が停止・再起動したり、送信機が再起動したりするのは正常です。

## 2.5 使用方法

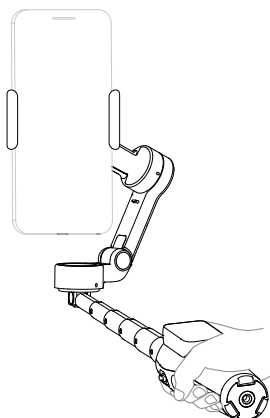
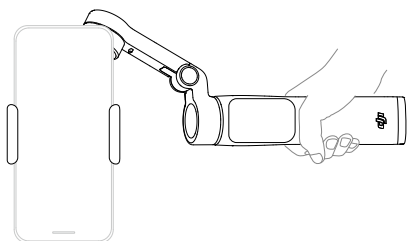
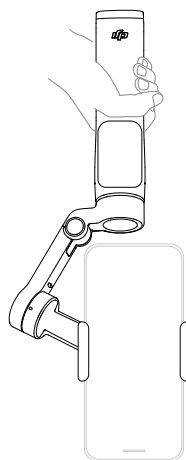
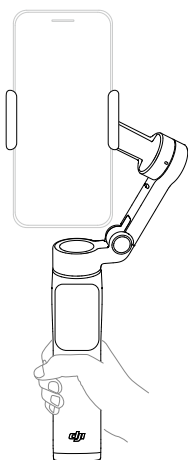
### リモート撮影

ハンドルから送信機を取り外すと、離れた場所から撮影を行い、送信機のタッチスクリーンでカメラ映像をモニタリングできます。詳細については、[左にスワイプ・スマートフォン画面のミラーリング](#)と[右にスワイプ・多機能モジュール](#)を参照してください。



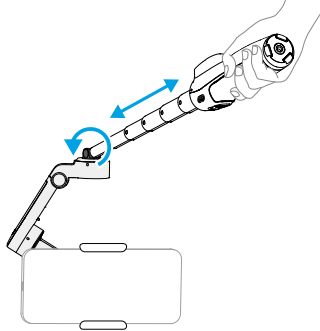
### 手持ち撮影

ハンドルに送信機を取り付けると、ジンバルを握って映像を撮影できます。

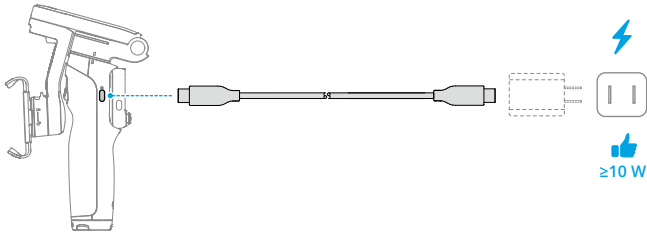


- 💡 • グリップジェスチャーは、ランドスケープ（横位置撮影）とポートレート（縦位置撮影）の両方に適用されます。
- 内蔵三脚が伸びている場合は、ハンドルを握って、安定性を確保します。三脚だけを握らないようにしてください。

- Osmo Mobile 8P の内蔵延長ロッドを使用して、ローアングル撮影ができます。クリックすると、チュートリアルビデオを視聴できます。



## 2.6 充電中

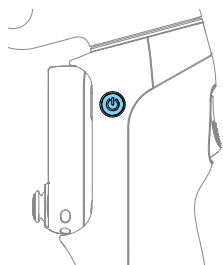


## 3 基本機能

### 3.1 ボタンとポート

次の機能説明では、例として **DJI Mimo** を使用しています。システムカメラの具体的な機能は、スマートフォンのモデルによって対応状況が異なる場合があります。詳細については、<https://www.dji.com/osmo-mobile-8p> をご参照ください。

#### ジンバル



##### 電源ボタン

##### 電源オフ時

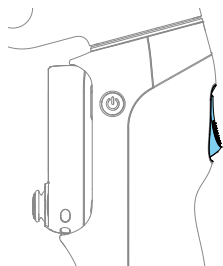
ジンバルを展開した状態で、1 回押す：電源オン  
ジンバルを折りたたんだ状態で、1 回押す：バッテリー残量を確認する

##### 電源オン時

1 回押す：ジンバルモードの切り替え  
3 回押す：スリープモードを開始します

\* スリープモードを終了するには、電源ボタン、シャッター／録画ボタン、またはトリガーボタンを押すか、送信機のタッチ画面を上方にスワイプします。

長押し：電源をオフにする



##### トリガーボタン

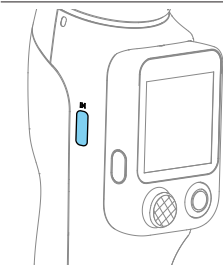
1 回押す：アクティブトラックの開始／停止（多機能モジュール、DJI Mimo、およびスマートフォン標準カメラのトラッキング機能に適用されます）

2 回押す：ジンバルを再センタリングします

3 回押す：スマートフォンを水平方向に 180 度回転させます

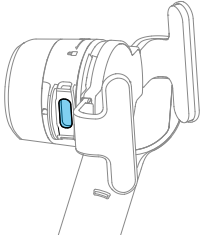
1 回押してから長押し：フォロー速度を高速モードに調整します。離すと終了します。

長押し：ロックモードを開始します。離すと終了します。



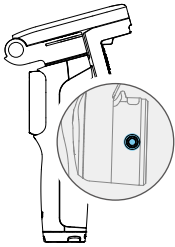
##### 充電ポート (USB-C)

ジンバルの充電



### 出力ポート (USB-C)

オプションの多機能モジュールを取り付ける場合や、別売りの DJI OM 補助光を装着する場合、または付属の充電ケーブル (15 cm) をスマートフォンの充電に接続する場合に使用します。

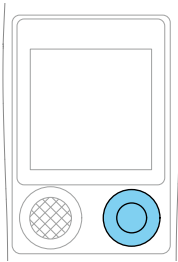


### カウンターウェイト取り付け穴

スマートフォンに重いレンズモジュールやレンズフィルターが取り付けられている場合に、カウンターウェイトを取り付けるためのものです。

\* カウンターウェイトのご購入については、公式テクニカルサポートまでお問い合わせください。

## 送信機



### シャッター／録画ボタン

カメラビューで 1 回押す：写真を撮影するか、動画の録画を開始／停止します

その他のビューで 1 回押す：カメラビューに戻ります

2 回押す：録画中、写真を撮影します

長押し：写真モード時にバースト撮影をします。

### ジョイスティック

#### ジンバルの制御

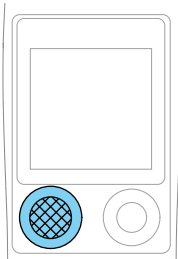
デフォルトでは、ジョイスティックはジンバルの全方向への動きを制御します。

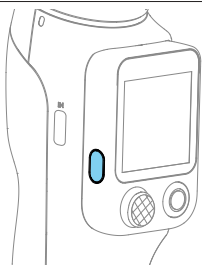
ジョイスティックを左または右に 2 回プッシュすると、**ジンバルが自動で回転します。**

送信機を取り外すと、ジョイスティックはジンバルのトリガーとして機能し、1 回 / 2 回 / 3 回のプッシュ操作に対応します。

#### ズーム制御

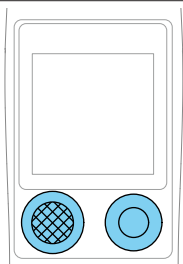
素早く上または下にプッシュすると、次のズームレベルに切り替わります。押し続けると、連続ズームを行います。





### 機能ボタン

- 1 回押す：現在のジョイスティック制御モードを確認します。もう 1 回押すと、モードが切り替わります。
  - 2 回押す：ジョイスティック制御モードを切り替えます
- 送信機を取り外した状態で、長押し：送信機の電源を単独でオン/オフします

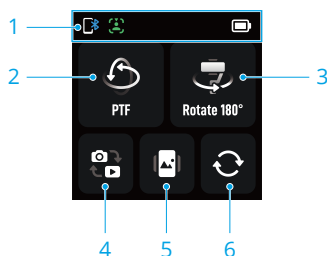


### ジョイスティック + シャッター / 録画ボタン

- 2 秒以上同時に押す：ジンバルの Bluetooth をリセットして、スマートフォンと再ペアリングします

## 3.2 送信機タッチ画面

### ホーム



#### 1. ステータスバー

：ジンバルとスマートフォン間の接続状態を表示します。

：トラッキング状態を表示します。点灯はトラッキング機能が利用可能であることを示し、点滅は被写体がトラッキングされていることを示します。多機能モジュール、DJI Mimo、およびスマートフォン標準カメラのトラッキング機能に適用されます。

：タップすると、ジンバルと送信機の両方のバッテリー残量が表示されます。

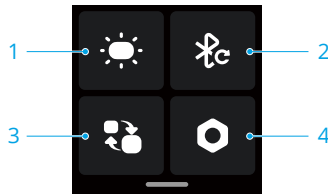
## 2. フォローモード

タップすると、モード切り替え画面に入ります。スワイプして、ご希望のモードを選択します。タップして、選択したモードを確定します。

3. スマートフォンを水平方向に 180 度回転させます
4. 写真モードと動画モードを切り替えます
5. 撮影方向を横向きと縦向きで切り替えます
6. 前方カメラと背面カメラを切り替えます

💡 システムカメラの具体的な機能は、スマートフォンのモデルによって対応状況が異なる場合があります。詳細については、<https://www.dji.com/osmo-mobile-8p> をご参照ください。

## 下にスワイプ - コントロールセンター



### 1. 補助光

オプションの多機能モジュールまたは別売りの DJI OM 補助光を取り付けた後、このアイコンをタップして、**補助光**機能を使用します。

### 2. ジンバルの Bluetooth をリセット

リセット後、ジンバルはスマートフォンと再ペアリングすることができます。

### 3. 送信機の接続を切り替え

別の機器に接続するには、ジンバルから送信機を取り外し、このアイコンをタップします。続いて、新しい機器名を選択して、接続を完了します。

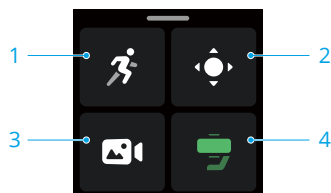
💡 新しいジンバルに接続する場合は、送信機をハンドルに取り付けると自動的に接続されます。

### 4. 設定

- 画面：自動ロック時間と画面の明るさを調整します。🔄 をタップすると、画面が回転します。

- アクティブトラック インジケーター：デフォルトで有効になっています。詳細な説明については、[インジケーター](#)のセクションを参照してください。
- その他の設定：パラメーターリセット、言語、機器情報、ファームウェアバージョンなどのオプションが含まれます。

## 上にスワイプ - ジンバル設定



### 1. ジンバルのフォロー感度

ジンバルが手の動きに追従する速度を調整します。

### 2. ジョイスティック設定

ジョイスティックで操作する際におけるジンバル回転の速度と方向を調整します。

### 3. クリエイティブ撮影

詳細については、[自動カメラワーク](#)のセクションを参照してください。

### 4. ジンバルステータス

ジンバルの現在のバランス状態が、アイコンの色で示されます。

- グリーン：非常に良い
- オレンジ色：弱
- 赤色：非常に悪い

ジンバルのバランスが悪い場合は、このアイコンをタップし、手動バランス調整を選択して、画面の指示に従ってください。

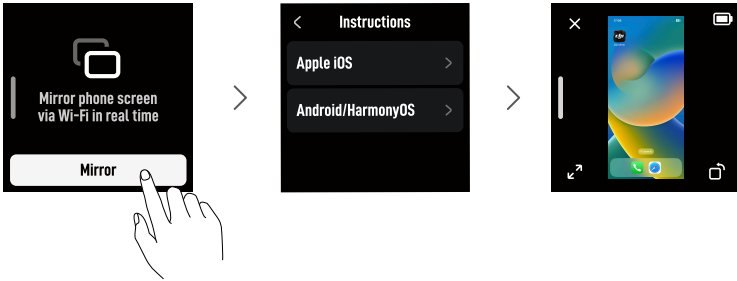
## 右にスワイプ - 多機能モジュール

多機能モジュールを装着すると、この画面で、トラッキングのプレビューを確認したり、トラッキングを素早く有効/無効にしたり、関連する設定をカスタマイズしたりできます。詳細については、[タッチ画面での操作](#)のセクションを参照してください。


## 左にスワイプ - スマートフォン画面のミラーリング

リモート撮影中は、スマートフォン画面を送信機にミラーリングできます。プレビューの構図を実際の撮影内容と一致させることができます。

ミラーをタップして、使用するオペレーティングシステムを選択し、画面の指示に従って接続を完了します。



スマートフォン画面ミラーリング中：

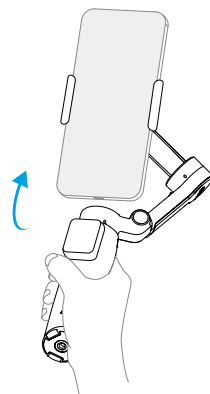
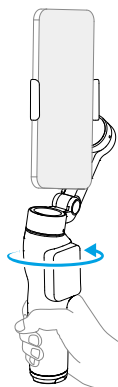
- 画面上の任意の場所をタップすることで、すべてのボタンを非表示にできます。もう一度タップすると表示されます。
- 右にスワイプすると、ホーム画面に戻ります。画面ミラーリングはバックグラウンドで実行され、上部のステータスバーに表示される  で確認できます。この間も、必要に応じてジンバルを調整できます。
- X をタップすると、画面ミラーリングが終了できます。さらに、iOS ユーザーの場合は、スマートフォンの画面録画を停止する必要があります。

 対応機器の詳細については、[互換性リスト](#)を参照してください。

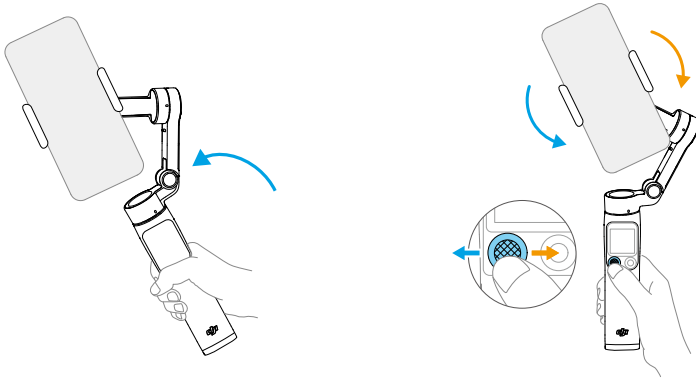
### 3.3 フォローモード

クリックすると、[チュートリアルビデオ](#)を視聴できます。

フォローモード	効果
PTF (パン・チルトフォロー) 	①+②
PF (パンフォロー) 	①
FPV (パン、チルト、ロールフォロー) 	①+②+③
スピンショット 	①+②+③+④
ロック	スマートフォンは、ハンドルの動きに追従しません



- ① ハンドルを水平方向に回転させると、スマートフォンもそれに追従します
- ② ハンドルを前後に振ると、スマートフォンもそれに追従します

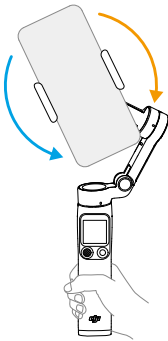


- ③ ハンドルを垂直方向に回転させると、スマートフォンもそれに追従します  
 ④ ジョイスティックを左右に動かすと、スマートフォンが垂直方向に回転します

### 3.4 自動カメラワーク

自動カメラワークの例：

① 自動ロール



② 自動パン




ジンバルの可動範囲の限界に達すると回転が停止します

360°自動パン

カメラの自動カメラワークは、次の方法で開始できます。ご希望の効果に応じて方法を選択します。

## クリエイティブ撮影を使用する

送信機のホーム画面から上方向にスワイプし、 をタップして、ご希望のクリエイティブ撮影モードを選択します。時間や方向などのパラメーターを設定し、**開始**をタップします。ジンバルは、あらかじめ設定された軌道に沿って自動で動作し、撮影を完了します。

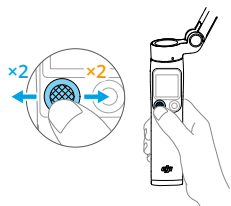
クリエイティブ撮影モード	効果
スピンショット	①
サラウンドショット	②
A/B パス	ポイント A とポイント B の間を移動します

\* A/B パスを使用する場合は、現在のジンバル位置をポイント A として設定します。続いて、ジョイスティックを使用して、ジンバルを別の位置に調整し、ポイント B として設定します。


## ジョイスティックを使用する

ジョイスティックを左または右に 2 回プッシュします。現在のフォローモードに応じて、ジンバルが自動的にパンまたはロールします。

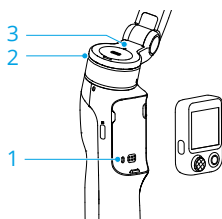
トリガーボタンまたはジョイスティックを 2 回押すと、回転が停止し、ジンバルが中央に戻ります。



フォローモード	効果
スピンショット 	①
PTF 	②
PF 	②
FPV 	②

 ジョイスティックがジンバルを制御するように設定されていることを確認してください。


## 3.5 インジケーター



### 1. システムステータス インジケーター


## 接続状態

 — 青色にパルス点滅 送信機から切断されています


 — 青色点灯 送信機に接続しました

## ジンバルのバッテリー残量


\* ジンバルを折りたたんだ状態で電源ボタンを 1 回押すと、インジケータでジンバルのバッテリー残量を確認できます。

 緑色点灯 51%~100%

 黄色点灯 26%~50%

 赤色点灯 1%~25%


## その他のステータス

 — 緑色点滅 充電中


 …… 素早く赤色点滅 ジンバルエラー（バッテリー残量低下または高温）

## 2. トラッキングステータス インジケータ

多機能モジュール、DJI Mimo、およびスマートフォン標準カメラのトラッキング機能に適用されます。


 — 緑色点灯 トラッキングの準備完了

 — 緑色点滅 被写体をトラッキング中です


 オフ トラッキングを利用できません

## 3. NFC ペアリングステータス インジケータ

Apple DockKit [トラッキング](#)に適用されます。デフォルトでは、この機能は無効になっています。有効にするには、DJI Mimo の [その他の設定] ページに進みます。

 — 白色パルス NFC がペアリングされていません

 …… 素早く白色点滅 NFC ペアリング

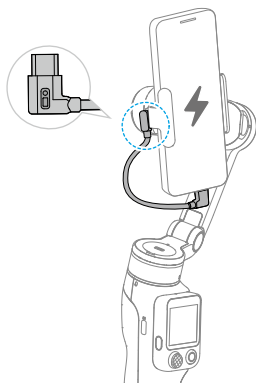
 — 白色点灯 NFC が正常にペアリングされました

## 3.6 スマートフォンの充電

---

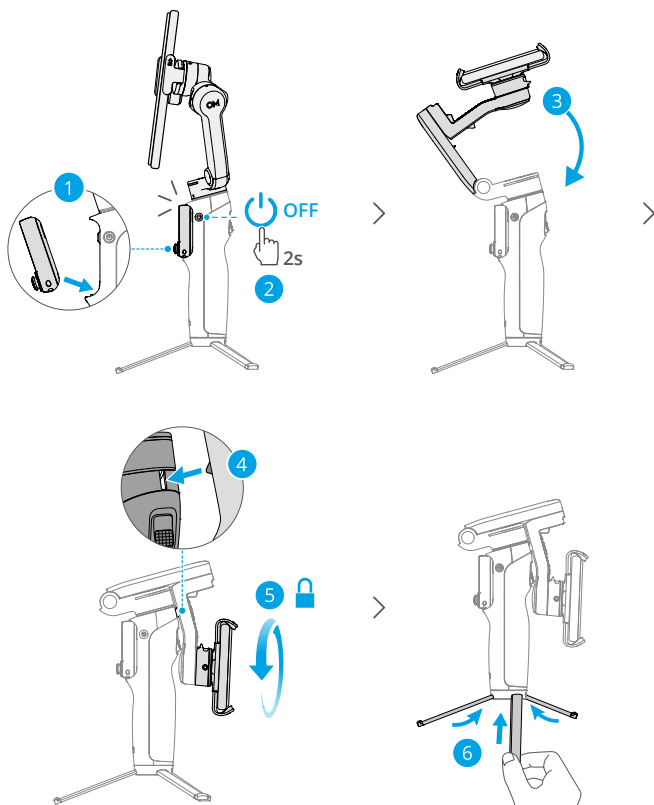
💡 ジンバルが十分に充電されていることを確認してください。

---



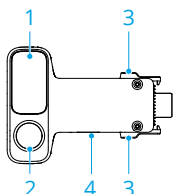
## 3.7 ストレージ

- ⚡ 事前に内蔵延長ロッドを格納しておいてください。
- ジンバルの電源が切れると、自動的に折りたたみ位置に回転します。
- ハンドルの送信機は、ジンバルの電源オフに連動して自動的に電源が切れます。



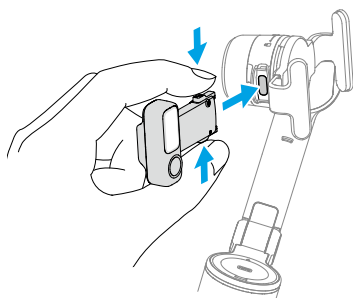
## 4 高度な機能

### 4.1 多機能モジュール（オプション）

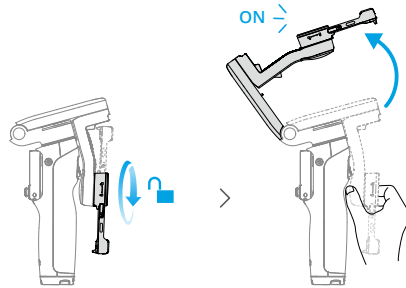


1. 補助光
2. トラッキングカメラ
3. リリースボタン
4. 出力ポート（USB-C）

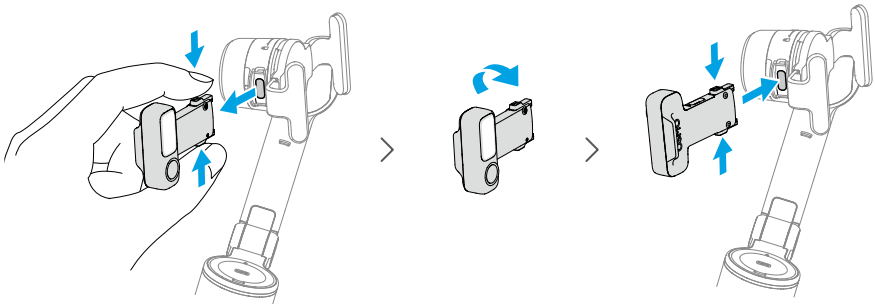
### インストール中



- 💡 多機能モジュールが取り付けられると、ジンバルのトラッキングステータス インジケータが緑色に点灯します（デフォルトで有効になっています）。
- 多機能モジュールが 5 分以上アイドル状態になると、自動的にスリープモードに入り、インジケータがオフになります。ジンバルのトリガーを押すと、スリープモードを終了します。
- 多機能モジュールが事前に取り付けられている場合は、ロール軸を回転させてロックを解除し、続いてジンバルを展開して使用を開始します。



カメラの向きを切り替えるには、いったん多機能モジュールを取り外して、反転させ、再度取り付けます。



## トラッキングと撮影

多機能モジュールを使用することで、標準カメラおよびサードパーティー製カメラアプリでトラッキングを有効にすることができます。DJI Mimo を使用する必要がありません。

多機能モジュールは、人物、車両、ペット（猫と犬）などの物体のトラッキングをサポートします。被写体の種類によって、トラッキングや撮影を制御するために使用できるオプションが異なります。

被写体	トラッキングを有効/無効にする	構図の調整
人物	タッチ画面 ボタン ジェスチャー	ボタン ジェスチャー
ペット（猫、犬）、車両	タッチ画面 ボタン	ボタン

被写体	トラッキングを有効/無効に 構図の調整 する
その他の物体	タッチ画面（手動選択のみ） ボタン

---

⚠️

- 多機能モジュールのトラッキング機能および撮影機能は、DJI Mimo では無効になります。
- 多機能モジュールのトラッキングカメラとスマートフォンのカメラを被写体の方向に向けてください。

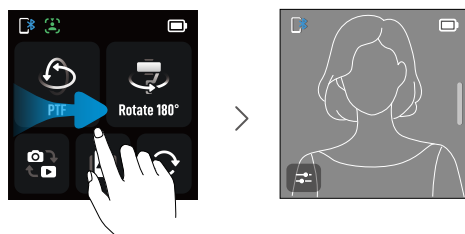
---

💡

- 逆光や低照度のシナリオでの使用は推奨されません。
- 人物をトラッキングする場合は、被写体をトラッキングカメラから 0.5~8 m 離してください。
- 被写体が人物以外の場合は、トラッキングプレビュー内で被写体が少なくとも 10% を占めるようにしてください。

---

## タッチ画面での操作



送信機のホーム画面から右にスワイプして、トラッキングプレビューに入ります。

- 自動選択：使用可能な被写体は、タッチ画面上で自動的に枠で囲まれます。トラッキングボックスをタップして、トラッキングを開始します。被写体を切り替えるには、対応するトラッキングボックスをタップします。
- 手動選択：タッチ画面上で任意の被写体を囲むようにボックスをドラッグします。緑色のトラッキングボックスは、トラッキングが開始されたことを示します。

## ボタンで操作する


トリガーボタンを 1 回押すと、トラッキングを有効または無効にできます。

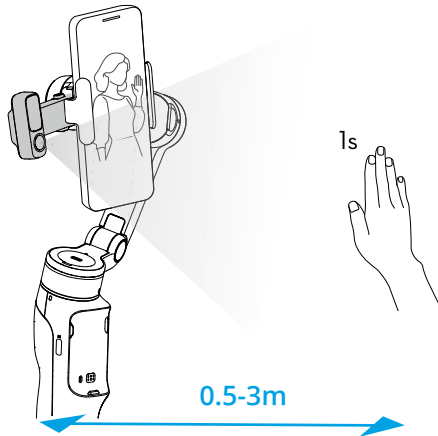
[アクティブトラック設定](#)で構図が**オリジナル**に設定されている場合、トラッキング中にジョイスティックを使用して構図を調整できます。デフォルトの構図に戻すには、トリガーボタンを 2 回押します。



## ジェスチャーによる操作

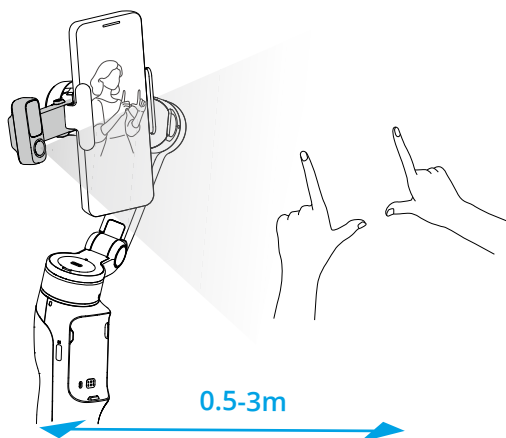
- 次の例では、スマートフォンの前方カメラを使用して、自撮りを撮影します。
- ジェスチャー検出を最適化するには、被写体をトラッキングカメラから 0.5 m～3 m 離してください。
- ジンバルのトラッキングステータス インジケータを、以下「インジケータ」といいます。
- ジェスチャー操作機能は、[アクティブトラック設定](#)内でカスタマイズできます。


### トラッキング


1. **トラッキングを有効にする**：カメラに向かって  ジェスチャーを行います。インジケータが緑色に点滅します。



2. **構図の調整**：トラッキングを有効にした後、必要に応じて構図を調整します。カメラに向かって   ジェスチャーを行います。インジケータが緑色に点灯します。被写体はフレーム内の好きな位置に移動できます。



再度  ジェスチャーを見せて、構図を確定します。インジケーターが再び緑色に点滅し、新しい構図でトラッキングが続行します。デフォルトの構図に戻すには、トリガーボタンを2回押します。

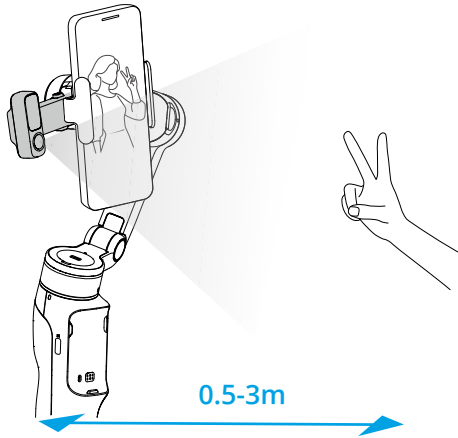
3. トラッキングを停止する：もう一度  ジェスチャーを見せます。インジケーターが緑色に点灯します。

## 撮影


---

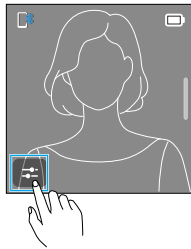
-  スマートフォンが Bluetooth 経由でジンバルとペアリングされていることを確認します。
-

トラッキングが有効かどうかにかかわらず、✌️ ジェスチャーを使って写真を撮影したり、録画の開始/停止を行うことができます。



## アクティブトラック設定

トラッキングプレビューで  をタップすると、アクティブトラック設定画面に入ります。



### 構図

オリジナル：トラッキングを有効にすると元の構図が維持されますが、トラッキング中に手動で調整できます。

中央配置：トラッキングを有効にすると、トラッキングプレビューで被写体を自動的に中央に配置し、トラッキング中もこの構図を維持します。

### 速度

低速ではトラッキングがスムーズになるので、ライブ配信に最適です。

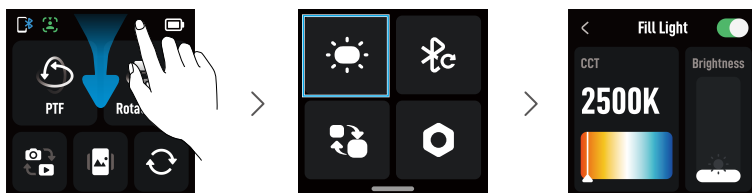
中速は、並走トラッキングや周回トラッキングに最適です。

高速は、クローズアップでの旋回撮影や動きの激しいシーンに最適です。

### 画像キャリブレーション

トラッキングプレビュー内の構図がスマートフォン画面と一致しない場合は、**画像キャリブレーション**をタップし、ジョイスティックを倒して調整してから保存します。

## 補助光



補助光の画面に入り、右上をタップすると、補助光がオンになります。続いて、次の設定を調整できます。

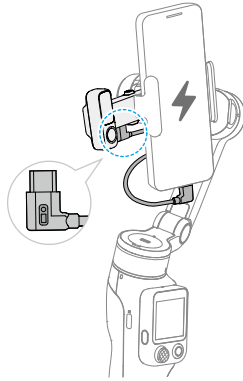
- 色温度を調整するには、タッチ画面を左または右にスワイプするか、ジョイスティックを左または右に倒します。
- 明るさを調整するには、タッチ画面を上または下にスワイプするか、ジョイスティックを上または下に倒します。

## スマートフォンの充電

---

- 💡 • ジンバルが十分に充電されていることを確認してください。

- ジンバルの電源をオンにする必要があります。



## 4.2 ワイヤレスマイクとの接続

スマートフォンにレシーバーを取り付けると、最大 2 台のトランスミッターを同時に接続できます。詳細については、『[DJI Mic Series Mobile Receiver User Manual](#)』をご参照ください。

## 4.3 Apple DockKit トラッキング

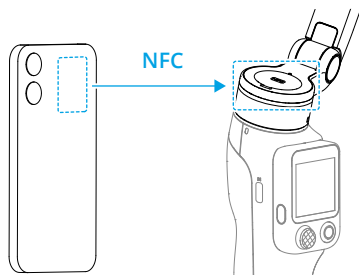
- 💡 • クリックすると、[チュートリアルビデオ](#)を視聴できます。
- この機能は、多機能モジュールまたは DJI Mimo のトラッキング機能と同時に使用することはできません。

iPhone ユーザーは、NFC を介してジンバルに接続し、Apple DockKit によって提供されるトラッキング機能を、多機能モジュールを使用せずに利用できます。この機能は、標準カメラアプリおよびサードパーティ製アプリをサポートします。

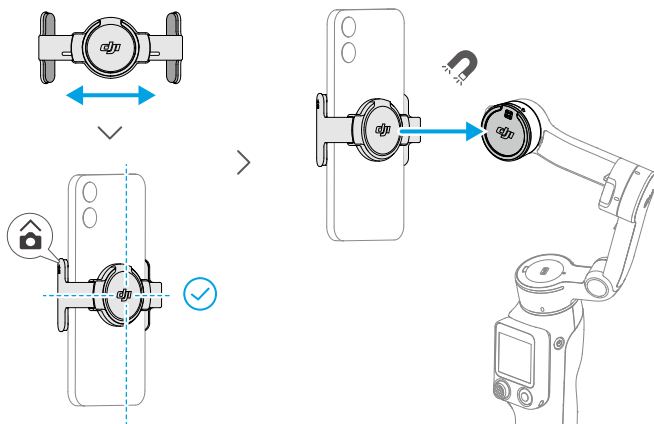
- ⚠️ • 機器要件：
  - ◆ モデル：iPhone 12 シリーズ以降（iPhone SE（第 3 世代）および iPhone 16e を除きます）。
  - ◆ システム：iOS 18.5 以降。
- Apple DockKit に対応するサードパーティ製アプリの詳細については、[互換性リスト](#)を参照してください。

## DockKit ペアリング

1. スマートフォンのロックを解除し、ホーム画面を表示したままにします。ネットワーク接続が安定していることを確認してください。Bluetooth と NFC を有効にします。
2. ジンバルを展開します。スマートフォンの NFC エリアを、ジンバルの NFC エリアに接触させてください。ポップアップウィンドウが表示されるまで待ち、画面の指示に従ってください。



3. 多機能モジュールを取り外し、続いてスマートフォンをジンバルに取り付けます。



4. ペアリングが成功すると、ジンバルがうなずき動作を行います。

- ☀ • 接続が完了するまで、しばらくお待ちください。
- 別のスマートフォンとペアリングする場合は、ペアリングする前にジンバルの Bluetooth をリセットしてください。

## トラッキングと撮影

標準のカメラアプリを開くと、被写体がフレーム内に入ったときに自動的にトラッキングが開始されます。トリガーボタンを1回押すと、DockKitトラッキングを有効または無効にできません。

スマートフォンが Apple Watch とペアリングされている場合は、Camera Remote アプリを使用して、トラッキングと撮影をリモートで制御できます。

\* watchOS 11 以降が必要です。

## 4.4 スマートウォッチでリモート制御

Apple Watch で DJI Mimo を使用すると、カメラフィールドを確認したり、ジンバルを制御したり、アクティブトラックをリモートで有効にすることができます。

1. スマートウォッチをスマートフォンとペアリングし、両方の機器に DJI Mimo をインストールします。
2. スマートフォンで DJI Mimo を実行し、ジンバルに接続して、カメラビューに入ります。
3. スマートウォッチで DJI Mimo を起動し、リモート制御を開始します。



- Bluetooth の範囲内にデバイスを置いてください。
- 対応しているスマートウォッチ機器については、<https://www.dji.com/osmo-mobile-8p/faq> をご参照ください。

## 5 メンテナンス

---

- ⚠ • バッテリーの火災が発生したときは、実際の状況に応じて、水、砂、毛布、粉末消火器、または二酸化炭素消火器を使って消火してください。
  - いかなる方法でも本製品の分解や穴あけを行わないでください。バッテリーの漏れ、発火、爆発が起こるおそれがあります。
- 
- 💡 • 本製品のお手入れには、乾いた柔らかい布を使用することをお勧めします。
  - スマートフォンがジンバルに取り付けられているときは、スマートフォンのコンパス機能が干渉を受けることがあります。このような場合には、スマートフォンの指示に従いコンパスをキャリブレーションしてください。
  - スマートフォンクランプを取り付けると、スマートフォンの近距離無線通信（NFC）および無線充電機能が影響を受けることがあります。スマートフォンからスマートフォンクランプを取り外すと、これらの機能は影響を受けなくなります。
  - 内蔵延長ロッドには、スプリングが使われています。延長ロッドを1週間以上伸ばしたままにしておくと、スプリングが変形し、延長ロッドを正常に使用できなくなるおそれがあります。使用後は、延長ロッドを格納し、ジンバルを折りたたむことが推奨されます。
-

## 6 付録

### 6.1 仕様

詳細については、<https://www.dji.com/osmo-mobile-8p/specs> をご参照ください。

### 6.2 スマートフォンの互換性

詳細については、<https://www.dji.com/osmo-mobile-8p> をご参照ください。



連絡先

DJI サポート

本内容は予告なく変更される場合があります。  
最新版は下記よりダウンロードしてください



<https://www.dji.com/downloads/products/osmo-mobile-8p#doc>

本書についてご質問がある場合は、DJI（[DocSupport@dji.com](mailto:DocSupport@dji.com) 宛にメッセージを送信）までお問い合わせください。

DJI と OSMO は、DJI の商標です。

Copyright © 2026 DJI All Rights Reserved.